

月 日 ルカの福音書 16:19-31

問題：ハデス(地獄)とはどのような場所として説明されていますか。

答え：

月 日 申命記 27 章

問題：聖書が今日のようにできていなかった時には、律法の言葉をどのように書きつけなければなりませんでしたか。

月 日 ルカの福音書 17:1-10

問題：きょうの歩みのために教えられたことがあったら書いてください。

答え：

月 日 申命記 28 章

問題：この章の題をつけてください。

答え：

月 日 ルカの福音書 17:11-21

問題：感謝を忘れなかった人は、神様をほめたたえていましたか。

答え：

月 日 申命記 28 章

問題：イスラエルの人々は、自分の目で神様の大きな不思議を見ましたか。

答え：

月 日 ルカの福音書 17:22-37

問題：現代とノアの時代またロトの時代に共通点がいくつかあります。どのようなことでしょうか。

答え：

いのちのことば社の一日一問を参考にしています。

喜ぶ者といっしょに喜び、泣く者といっしょに泣きなさい。ローマ人への手紙2:15

人は誰にでも、嬉しい時や悲しい時、また寂しい時があると思います。その時あなたは、誰とその気持ちを分かち合っていますか。人の喜びをねたまず、悲しんでいる人に安易な気休めを言わず、寂しい時には、あなたのそばに立って、一緒に笑い、一緒に泣き、無理なアドバイスするよりは、ただあなたの話を聞いてくれる友。あなたにはそのような友がいますか。私にはいます。その友はイエスキリストです。イエス・キリストの語ったことばに、次のようなことばがあります。すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。マタイの福音書 11章28節
この世の中、疲れた人や重荷を負っている人と一緒にいたいという人は、どれぐらいいるでしょうか？しかし、イエスさまは、疲れた私に、重荷を負っていた私に、心に憤りをもって悩んでいた私に、障害を持ち苦しんでいた私に手をさし伸ばされる友でした。あなたも、イエスキリストと友になってみませんか。

礼拝のご案内

日曜礼拝(日曜日)

11:00~12:00

水曜礼拝(木曜日)休

11:00~12:00

金曜日礼拝(金曜日)

20:00~21:00

2022年12月25日

408

聖書キリスト教会

伊勢崎聖書キリスト教会



〒372-0855
群馬県伊勢崎市長沼町2166-4
TEL/FAX 0270-55-3177
japanese0691@gmail.com

かん よんろく
牧師 姜 永祿

礼拝の順序

司会：姜 永禄
説教：姜 永禄

- 賛美&祈り アルニオン賛美チーム
- 招 詩 詩篇100篇
- 新 聖 歌 298
- 主の祈り
- 聖 書 ルカの福音書2：1-14
- 説 教 「彼らのいる場所がなかった」
- 新 聖 歌 77
- 献金祈禱 説教者
- 祝 禱 説教者
- 報 告

敬称略

献金は自由献金です。

詩篇100篇

全地よ。
 主に向かって喜びの声をあげよ。
 喜びをもって主に仕えよ。
 喜び歌いつつ 御前に来たれ。
 知れ。主こそ神。
 主が私たちを造られた。
 私たちは主のもの
 主の民その牧場の羊。
 感謝しつつ 主の門に
 賛美しつつ その大庭に入れ。
 主に感謝し御名をほめたたえよ。
 主はいつくしみ深く
 その恵みはとこしえまで
 その真実は代々に至る。

主の祈り

天にまします我らの父よ。願わくは御名をあげめさせたまえ。御国を来たさせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を今日も与えたまえ。我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。我らを試みに会わせず悪より救いいただいたまえ。国と力と栄えとは、限りなく汝のものなればなり。

アーメン

報告&お知らせ

- 1、本日、はじめていらっしゃった方々を心から歓迎いたします。
- 2、コロナの拡散を防ぐ対策として、日曜学校、水曜礼拝、をしばらく休みます。
- 3、本日の礼拝は教会とオンラインのみで行います。
- 4、2023年の元旦礼拝は今までの通り教会にて行います。
- 5、元旦礼拝後に食事会があります。
- 6、1月15日(日)に東京教会にて教会大会が午後2時からあります。
- 7、受験性たちのために祈りましょう。

祈りの課題

- 1 教会に属している方々が、御言葉と賛美と祈りの中で、主と深く交わり、愛の人となりますように。
- 2 教会に属している方々の健康と安全、平安が、主の御手により守られますように。
- 3 水曜・金曜礼拝(祈り会)に主の大いなる御業をみる事ができますように。
- 4 医療従事者、福祉施設で働く方々の健康が守られますように。
- 5 全世界の教会が安心して礼拝の恵みにあずかる事が出来るように。